

「2024 世界バプテスト祈禱週間にあたって」 吉田真司

世界バプテスト祈禱週間は毎年11月の最後の日曜日から12月の最初の日曜日までの8日間です。そのはじまりは、戦前(1931年)、時の「日本バプテスト婦人会同盟」(日本バプテスト西部組合に加盟する15教会・講義所の婦人の代表らによって結成)が初めて世界伝道のためのバプテスト祈禱日を守ったことにあります。それ以来、「バプテスト婦人たちの中心的な活動として継承されて」(『日本バプテスト連盟五十年史』より)きました。日本バプテスト女性連合(1973年に「婦人連合」発足。のち2004年度に「女性連合」へ名称変更)の使命と謳われる「イエス・キリストが世界の救い主であることを告白し、日本を含めて全世界の人びとにキリストの福音を伝えます」(女性連合「使命」より)にあるとおり、女性連合推進の世界祈禱週間による献金は、日本バプテスト連盟の国外伝道・国内「開拓」伝道・世界伝道のために大きく献げられ、幅広く用いられてきました。

*

一方、日本バプテスト連盟は現在、機構改革の只中にあり、他の部門と同様に「国外伝道」の文脈でも大きな転換が計られています。「国外伝道から国際宣教へ」というのが新理念の特徴です。『国際宣教の理念(案)』は、テーマを『「和解のつとめ」に仕える国際宣教～宣教師派遣中心の国外伝道から、今、共にキリストを証しする「国際宣教」へ』としました。今後は連盟諸教会・伝道所が自分たちで取り組める国際宣教をベースとし、連盟はその教会の働きを支援する形となります。しかし、決して連盟は国外伝道を止めるわけではありません。持続可能な形で働きを継承するためにそのあり方を協議しています。(2024.11「国外伝道ニュース」より)。

『世界』は今、国の『内・外』を超えています」とは、連盟・坂元幸子宣教室長の言葉です。世界祈禱週間に際して、その身近な「世界」に対する祈りも強めたく思います。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会(相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708
 牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>